

## エンジェルズ賛歌

エンジェルズは大谷選手が所属する大リーグの球団名ですが、今回は野球の話ではありません。我が公民館を本拠地として活動している、川津キッズチャリディングクラブ「スパークルズ」の少女たちのことです。

毎週火曜日と木曜日の夕方、エンジェルたちは公民館に舞い降ります。「こんにちは。よろしくお願いします!」。彼女たちは、必ず事務室の職員に大きな声で挨拶します。エンジェルたちにつられたように付添いのお母さんも挨拶してくださいます。一陣の涼風が吹き抜けるような爽やかな光景です。

小学校一年から中学三年生まで、総勢六十余名のエンジェルたち。県内では他に例を見ないチャリディングチームとして、各種イベントに引っ

張りだこです。さらにbjリーグのハーフトタイムショーに出演するなど、その演技のレベルは高く、関西のチャ名門高校に進学するエンジェルまで現れました。

五月下旬、朝七時のNHKニュースのトップ3は「加計学園」「日大アメフト部」「狛江のセクハラ市長」でした。日本の社会が劣化し、溶けていくような気がします。

川津では毎年百六十名の赤ちゃんが産まれます。一週間に三人が産まれていることになりました。こんな時代の、こんな世の中でも、この地に生まれてくれた子供達には、一人残らず健やかに育ててもらいたい。「スパークルズ」のエンジェルたちの弾けるような笑顔に接していると、そんな思いを強くするのです。